

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	羽村市立武蔵野小学校
授業者	横山 もも

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

未来のために－自分たちだからできること－

#### 1-2. 学年

第5学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間「未来のために－自分たちだからできること－」（24h）

国語「伝記を読んで自分の生き方を考えよう」－あなたは、どう考える－（3/6h）

社会「わたしたちの生活と食料生産」（3/10h）「わたしたちの生活と環境」（3/10時間）

理科「台風と天気の変化」（1/h）

学校行事「学び発信プロジェクト」（3/8h）

#### 1-4. 単元の概要

本単元は、5つの小単元で構成する。昨年度の学習を活かし、環境課題を海洋と結びつけながら課題を「自分ごと化」し、活動の過程を通して持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を身に付けることを目的とする。

[単元Ⅰ]：児童は、昨年度取り組んできた海洋プラスチックの問題を振り返ると共に、社会科「わたしたちの生活と食料生産」での学習と現在地球規模で起きている環境問題とのつながりを見付ける。新たな環境問題にも視点を広げ、海洋とのつながりから課題を設定する。

環境活動家から「今、自分にできること」の講演を受ける。また、理科「台風と天気の変化」での学習と環境問題に対する動画を結び付け、環境問題についての関心を高める。そこから、児童は「環境問題の原因は、人間一人一人の行動に起因していることに気付く。「自分たちの行動が変われば、未来を変えることができ、持続可能な社会に貢献できるのではないか」という見通しをもつ。そこで、様々な環境問題から、自分が解決したい問題を決定し、その解決のために必要な情報や必要なことを考え、学習の計画を立てる。その際、一人一台端末を活用し、児童一人一人が解決したい環境問題に合わせた情報収集・整理分類を進める。

[単元Ⅱ]：課題の解決のために情報を集め、大人も含めた一人一人が取り組めることや小学生だからできることを分類・分析し、自分にできることを考える。

自分が課題設定したことについて、その現状や原因、現在行われている解決策等を調べ、自分には、どのような解決方法ができるのか、小学生だからこそのことを考える。そして、SDGsを推進している企業による出前授業に臨み、社会科「わたしたちの生活と環境－私たちの生活と森林－」の学習に繋げ、企業の取組について再確認する。自分の考えた解決方法を、プレゼンテーションソフトを使って学級内で共有する。

[単元Ⅲ]：前時までに考えた自分の解決方法を、行事「学び発信プロジェクト」の機会を活用して、全校・保護者に向けて発信する。伝える相手意識を明確にもち、自分が取り組む解決方法を1枚のプレゼンシートを提示しながら、解決宣言をする。

国語科「あなたは、どう考える」の学習を活用し、目的や意図に応じて事実と感想・意見とを区別して書くことで、自分の考えがより伝わることを学ぶ。学んだ書き方を元に、相手を意識した自分の宣言文を書く。「学び発信プロジェクト」での発表に挑戦し、保護者からの質問や意見を受け、自分の考えを振り返り、軌道修正する。

[単元Ⅳ]：自分たちが取り組む解決策をグループで仮実践に移しながら、解決策を再構築し、自分の実践に繋げる。

実際に自分で行動することで、自分一人で行動することの限界に気付くとともに、具体的な目標を定めることや、対象や時間・場を設定することの重要性に気が付く。そして、解決策の目的を同じくするグループを作り、一人の解決策をモデルとして、仮実践に取り組む。何度も TRY and ERROR を繰り返しながら、持続可能な実践に繋がるよりよい解決策に向け、実践計画や解決策を再構築する。その活動を元に、改めて自分の解決策を改善し、自分考えの実践・行動化に繋げる。

[単元Ⅴ]：自分たちの活動や考えを対象に発信し、総合的な学習の時間の学びを振り返る。

自分の解決策は「実現可能なのか」「持続可能なのか」について振り返りを行う。改善した自分の考えを、学級ごとに対象を変えて発信する。その際、情報の流れが一方通行とならないよう、情報の受け取り側からの意見や考えも交流できるよう、協働的な学びの場となるよう、自分たちで進行を工夫し、交流を図る。時間と空間を超えた学びの場として、2学級が昨年の交流学习に続く「八丈町立三根小学校」と本校とメール交換を継続している Finland Millyimaen 小学校」に発信する。また、1学級が本校4年生に对面で発信する。4年生は、今年度学んできた総合的な学習の時間の学びと繋ぐ。そして、次学年の5年生次に向け、自分たちの考えの実践・行動化について引き継ぎ、これからの学習の見通しをもつ。

最後に、単元を通した自分自身の変化を振り返り、自分の成長についてまとめ、自己の生き方に活かす。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間において「20才の私たちへのメッセージ」という単元を組んで環境問題について学習した。SDGs を切り口に、「マイクロプラスチックが大きな海洋問題になっている」ことや、「海と陸の問題はつながっていること」等を学び、それらの解決のために実際にゴミ拾いをしたり、ゴミの分別をしたりしてきた。このような学習の積み重ねから、環境問題に対する意識を高くもてるようになり、他教科の授業でも環境問題とつなげて思考する姿も見られる。

一方、その知識や思いには大きな差がある。現在も、ごみ拾いや分別、残飯が減るよう声かけ等、環境問題の解決に向けた活動をしている児童がいる一方、学びが実生活で活かせず、分別しないでゴミを捨ててしまったり、クラス内での声掛けに対して主体的に取り組むことができなかつたりする児童の姿も見られる。改めて海洋とのつながりを意識させながら、実践・行動化に移していきたい。また、本学級の児童は、どの学習に対しても興味をもって素直に取り組み、自分の意見を友達と共有することができる一方、自分たちで創意工夫をしたり、自ら考え、判断して行動したりすることには苦手意識をもつ児童が多いことから、自分の考えたことを主体的に実践・行動化することに楽しさ・喜びをもって取り組むことを体験するよいチャンスと捉える。

そこで、本単元では、昨年度の学習から視点を世界に広げたくて現在・未来に焦点をあてて、改めて環境問題に対して学習することで、自分たちが解決しなければならないのだという課題意識を強くもたせたいと考える。さらに、児童はグループで活動し、解決に向けて何度も試行錯誤する時間を設けることで、自身の課題とのつながりを自分で考え、解決に向けて友達と協力し行動することができるよう、グループを活用した協働的な場を設けていく。

このような活動を通して、ESD 教育の視点に立って行動する力を身に付け、持続可能な社会の創り手としての自己の生き方を考えることができる児童を育成したいと考える。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

##### 【知識・技能】

- ・既習事項や生活経験・調べたことをもとに、すべての環境問題を引き起こしているのは、自分たちの生活であることに気付いている。
- ・自己の設定した課題を解決するための方法を、試行錯誤しながら見い出している。
- ・すべての環境問題がつながることの理解や、自分たちの行動の変容は、環境問題の解決方法を探究的に学習してきたことの成果だと気付いている。

##### 【思考・判断・表現】

- ・課題設定の場面において、身近な生活における関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。
- ・情報の収集の場面において、よりよい解決方法を提案するために必要な情報・手段を選択・収集している。
- ・整理・分析の場面において、観点に合わせて比較・検討することで、課題達成に向けて情報を精選したり手立てを見直したりしている。
- ・まとめ・表現の場面において、相手や目的に応じて分かりやすく表現している。

**【学びに向かう力・人間性】**

- ・自他の良さを生かして、異なる意見を受けいれたり、尊重したりしながら、探究に取り組もうとしている。
- ・環境問題を自分ごととしてとらえ、環境問題の解決という目標に向かって、主体的・協働的に取り組もうとしている。
- ・環境問題への解決策を考える取り組みの中で、自分の良さや可能性に気付き、自己の生き方や未来の社会の在り方について考えようとしている。

1-7. 単元の展開（全33時間）

	時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
<p><b>社会「わたしたちの生活と食糧生産」—水産業のさかんな地域—（2時間）</b></p> <p>○魚の捕れる地域や現在の水産業の実態と課題について理解する。</p> <p>○これからの水産業の課題について考える。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>資料の読みとりを通して日本の水産業の現状を知り、抱える課題を捉えている。【知識・技能】</p>			
<p><b>社会「わたしたちの生活と食糧生産」—これからの食糧生産—（1時間）</b></p> <p>○海外に依存する日本の食糧生産について理解し、現在の食生活の見直しを行い、今後の食糧生産について考える。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>資料の読み取りを通して、食の安全・安心への取り組みについて理解している。【知識・技能】</p>			
一次	3時間	<p><b>課題設定</b></p> <p>○環境問題への課題意識を高め、学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生での学習を振り返り、5年生の学習で身に着きたい力を考える。</li> <li>・環境活動家の話を聞き、問題意識をもつとともに、行動化の必要性に気付く。</li> <li>・10年後の未来を予測した動画視聴から自分たちの生活を振り返り、自分たちの近い未来の暮らしに危機が迫っていることに気付く。</li> </ul>	<p>〈教師の指導〉</p> <p>自分たちの考えを実践・行動化していくに向けた学習について、見直しをもたせる。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>環境問題を自己の取り組むべき課題をして捉え、見直しをもって取り組もうとしている。</p> <p><b>【主体的に学習に向かう態度】</b></p> <p>〈外部連携〉</p> <p>出前授業「環境問題の解決に向け、わたしたちができること」</p> <p>講師：環境活動家 露木志奈氏 ※写I</p> <p>〈使用教材〉</p> <p>NHKスペシャル「2030 未来への分岐点」</p>

<p><b>理科「台風と天気の変化」(1時間)</b></p> <p>○近年大型の台風が増えていることや、台風の強風や大雨によって災害がもたらされる場合があることを理解する。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>地球温暖化の影響で大型の台風が増えていることやその被害が大きくなっていることを知り、地球温暖化を解決する必要があることに気付いている。【知識・技能】</p>			
一 次	5 時 間	<p><b>情報収集、課題設定</b></p> <p>○環境問題について調べる中で、自分が解決したい環境問題を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味をもった環境問題を調べる。</li> <li>・様々な環境問題の原因について考えを深め、環境問題は人間の行動に起因していることに気付く。</li> <li>・環境問題の解決に向けて動く大人の存在を知り、自分たちにできることに思いを広げる。</li> <li>・自分が解決に向けて取り組みたい環境問題を決定し、学習計画を立てる。</li> </ul>	<p>〈教師の指導〉</p> <p>インターネットの活用とともに、これまで学習してきた環境問題に関する資料をデータで共有できるようにし、児童が必要な情報を自ら選ぶことができるようにする。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>取り組みたい課題を設定し、問題解決のために何が必要か、計画を立てている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>〈外部連携〉</p> <p>出前授業「環境問題における企業での取組」 講師：味の素(株) 森島千佳氏 ※写Ⅱ</p>
<p><b>社会「わたしたちの生活と環境」—わたしたちの生活と森林—(1時間)</b></p> <p>○日本の森林の分布を知り、自分たちの暮らしとの関わりについて考える。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>森林資源を守るために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>			
<p><b>社会「わたしたちの生活と環境」—環境を守るわたしたち—(2時間)</b></p> <p>○自然を守りながら豊かな生活をしていくには、どんなことを大切にしていけばよいか考える。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>自然環境や生活環境を守るためには、様々な人の努力や一人一人の協力が重要であることを知り、自分のできることを考えている。 【思考・判断・表現】</p>			
二 次	2 時 間	<p><b>情報収集、整理・分析</b></p> <p>○環境問題の解決のために自分のできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のために必要な情報を集める。</li> <li>・自分の調べたことを分析し、そこから考えた課題解決のための方法をスライドにまとめる。</li> </ul>	<p>〈教師の指導〉</p> <p>スライド作りに向け、課題解決の方法をキーワードでまとめていくよう指導する。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>環境問題の解決に向けて、自分のできることを考え、そのために必要な情報を集めている。【思考・判断・表現】</p>
<p><b>国語 説得力のある意見文を書こう「あなたは、どう考える」(3時間)</b></p> <p>○自分の考えた解決方法を全校・保護者に向けて発表するための意見文を作成する。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>目的や意図に応じて事実と感想・意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思考・判断・表現】</p>			

<p>三次</p>	<p>2時間</p>	<p><b>表現（解決方法に向けた宣言）</b></p> <p>○環境問題の解決方法を全校・保護者に向けて発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ環境問題に取り組む児童でグループを作り、発表の役割分担を決める。</li> <li>・自分の考えた解決策の宣言を決定する。</li> <li>・自分の解決策とそこに込めた思いが伝わるように発表の練習を行う。</li> </ul> <p>〈教師の指導〉</p> <p>児童同士でスライドを共有できるようにすることで、考えを比較できるようにする。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>相手を意識した表現方法を工夫した宣言文を作成している。【思考・判断・表現】</p>	
<p><b>学校行事 「学び発信プロジェクト」（1時間）</b></p> <p>○相手意識をもち、自分の考えをすすんで発表する。 ※写Ⅲ</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>相手を意識した表現方法を工夫し、声の大きさや伝える速さを考え、表現している。【思考・判断・表現】</p>			
<p>四次</p>	<p>9時間</p>	<p><b>情報収集、整理・分析の見直し、実践</b></p> <p>○環境問題の同じ解決策でグループを組み、仮実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決策の仮実践に向けて、グループ出意見を出し合い、実践計画を立てる。</li> <li>・仮実践の TRY and ERROR を繰り返し、取組の振り返りを行う。活動の振り返りをもとに、解決策の再構築をする。</li> <li>・グループでの活動でうまくいかなかった理由を考えたり、関係者から意見をもらったりしながら、仮実践した環境問題の解決策を海洋とのつながりやSDG s の観点から見直す。</li> </ul>	<p>〈教師の指導〉</p> <p>仮実践の明確なゴールを設定するように指導する。また、自分たちの活動を広めるためには、対象・時間・内容について意識していく必要があることに気付かせる。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>グループで活動することの必要性に気が付き、友だちと協力しながら課題解決に向かおうとしている。【主体的に学習に向かう態度】</p> <p>グループの計画に沿って、目的意識をもちながら、課題解決に必要なことを考え、準備を行っている。【思考・判断・表現】</p>

<p>五次</p>	<p>5時間</p>	<p><b>まとめ・表現・振り返り</b></p> <p>○自分たちの活動や考えを対象に発信し、総合的な学習の時間の学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄食品から電気を作る会社の出前授業を受け、経営者と対談することで、環境問題に向けた新たな視点を得る。</li> <li>・これまでの学習を振り返り、活動の成果と今後の課題を考える。</li> <li>・自分たちの活動を4年生、他校、他国に伝えるためのスライドを作成し発信する。 ※写V-1, 2, 3</li> <li>・単元を通した自分自身の変化を振り返り、自分の成長に気が付く。</li> </ul>	<p>〈教師の指導〉</p> <p>蓄積してきたワークシートや資料を見返し、活動の成果・課題を整理することで、自分の頑張りや成長に気が付くことができるようにする。</p> <p>〈主な評価〉</p> <p>自分の活動を振り返り、相手意識をもち、自分の考えを表現している。</p> <p style="text-align: right;"><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>〈外部連携〉</p> <p>出前授業「再生可能エネルギーの活用」 講師：西東京リサイクルセンター 大橋徳久氏 ※写IV-1, 2</p>
-----------	------------	--	---

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目（総合的な学習の時間）

※単元 37時間中の29時間目

### 2-2. 本時の目標

自分達の考えた解決策とSDGsとの関連を考える活動を通して、1つの行動で複数のSDGsの問題を同時に解決できることや、それぞれができる活動をすることが目標達成のために大切であることに気が付き、より良く課題を解決するための方法を見出すことができるようにする。（思考・判断・表現）

### 2-3. 本時の展開(総合的な学習の時間)

○主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p><b>1 本時の学習の見通しをもつ。</b> ○これまでの解決方法をよりよくする2つの視点をもつ。 ①グループで活動していることや、取り組もうとしていることが本当に目標にあっていたのか確かめる ②世界的な基準であるSDGs目標を使い、グループ同士の関係について考える。</p>	<p>・SDGsカードを提示し、自分の考えと関連のある目標に気付かせる。</p>
<p><b>【めあて】自分たちの解決策を振りかえり、目標を達成するためポイントを見付けよう</b></p>	
<p><b>2 自分の活動とSDGsとの関連について考える。</b> ○自分たち活動が解決につながるSDGsを考える。 C：紙の無駄遣いをなくす活動をすると、伐採する木が少なくなり、CO2が減り、地球温暖化が防げる。また、動物たちも暮らせるから森の豊かさにつながる。森が豊かになると栄養分のある水が海に流れ込み、海も豊かになる。</p> <p><b>3 グループの活動とSDGsとの関連について考える。</b> ○グループで意見を出し合い、考えを1つにまとめる。 C：森の木が守られることで、陸の豊かさが守られるから、15番は森に関係している。 C：ゴミを分別することで、再利用できるゴミが増え、CO2が減り、海面上などの気候変動が押さえられるから、13番に関連している。さらに、限られた資源を守ることも12番にも繋がる。</p>	<p>○Google Jamboardの背景に設定した地図上に関連するSDGsの項目を貼ることで、自分達の活動が様々な場所でのSDGsの目標の達成に関連していることに気付くことができるようにする。 ○SDGsとの関連を「関連する場所」に置き換えて考えさせる。 ○話し合いの手順をステップチャートで提示するし、互いの意見を聞き合うことができるようにする。 ○地図上に貼られたSDGsをカテゴリーごとに囲むことで、同じ場所で複数のSDGsの目標が達成できることに気付かせる。</p>



#### 4 グループでの考えを全体で共有し、それぞれの解決策のつながりを考える。

○完成した地図をもとに、環境問題の達成のためポイントについて考える。

##### 【パートナーシップ】

C: 13番の気候変動を貼っている班が多い

C: 13番は空に多い

C: 1つの班だけでなく、みんなで一緒に活動したら一気に解決できし、早く解決できそう。

C: 自分たちができることをそれぞれやるのが大切だ

##### 【同時解決性】

C: 節電をすると、エネルギーを作るためにものを燃やす必要がないのでCO<sub>2</sub>が減り、温暖化の対策にも効果があるので13番につながり、温暖化が進まなければ住み続けられるまちにつながるので11番にもつながる。

C: 自分たちが学校で節電すると、沢山の問題の解決に繋がっている。

C: 自分達の解決策は、もっと色々なSDGsとつながっているのかもしれない

○今日の学習から、自分達が環境問題を考える上で大切なことは、何か考える。

C: 自分たちの行動で、いくつもの問題を同時に解決できる。

C: 協力して行動することで、より効果的に解決することができる。

○黒板に貼るSDGsのカードを色別にする事で、1つの班が複数の問題の解決に繋がっていることに着目させ、同時解決性に気付かせる。

○複数のSDGsとの関連に気が付いた班のJamboardを大型テレビで写し、全体で共有し、着目したい班の活動とSDGsとの関係に目を向けることができるようにする。

○「自分がどうしていきたいのか」問いかけ、振り返る時間を設け、本時の学習を今後の自分達の活動に生かせるよう働きかける。

##### 〈評価〉

SDGsの目標の同時解決性や、協力して活動することの意味に気が付き、よりよく課題を解決する方法を考えている。

##### 【ポートフォリオ・発言】

#### 【まとめ】

- ・一つの問題は、色々な環境問題や解決の場所に繋がっていることから、自分たちの行動はいくつもの問題を同時に解決できる。(同時解決性)
- ・それぞれができる活動をすることが、目標達成のために大切である。(パートナーシップ)

#### 5 本時の学習の振り返りを行う。

○今日の学びをこれからの学習にどう生かしていきたいか考える。

C: 自分の行動がいくつもの環境問題の解決に同時に役立つことが分かったので、この活動をもっと広めていきたい。

C: 他の班とやっていることは違うけれど、同じ環境問題につながっていることが分かった。自分にできることを一生懸命やっていきたい。

### 3. 今回の活動の自己評価

本単元の指導を通し、大きく3つの成果を得た。

1. 課題設定の場面におけるICT、外部人材の活用の有用性を実感することができた。児童が様々な問題から、自分が解決したい環境問題を選択していたために、多くの情報に触れる機会を設定したことが有効に働いた。
2. 児童が自分の考え見つめ直す機会を設けることができた。自分が実際にできる解決策について、計画、実行、振り返りを何度もTRY and ERRORしていくことで、環境問題の概念的理解を深め、考えを再構築していくことに繋げることができた。
3. 自分一人では解決が難しい問題も、協働的に取り組むことで解決の糸口が見えてくることに気付くことができ、積極的に協働的な学びに向かう姿が確認できた。

### 4. 今後の課題

- ・児童は、単元のはじめには海洋と結び付いた環境問題を解決したいという思いを強くもつことができた。しかし、自分たちの解決方法の結果が出るまで意欲を持続させることが難しかった。単元の流れを児童に示し、児童が目指すゴールを明確に描かせていくことが課題である。
- ・すぐに成果のでる課題ではないことや、振り返りに付いての積み重ねの経験不足から、児童自身が振り返りを生かして考えを再構築することが難しかった。児童自身が振り返ることの意味や良さを理解し、メタ認知的に自分の解決の立ち位置を認識し、活動を見直す時間を計画的に組み込んでいくことが課題である。
- ・今後のICT活用には、時間と空間を越えた活用を広げ、様々な立場や考えをもつ多様な他者と積極的に交流し、児童が主体的に協働的な学びに繋げていけるようにしていくことが課題である。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・多くの目に触れる写真掲載については、児童が映っている写真に限り、個人が特定できる場合は保護者同意の確認が必要である。

### 学習計画(ESDカレンダー)

教科	9・10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間	環境問題について知ろう→自分たちにできることは何だろう		→環境問題の解決にむけて行動しよう			→学習したことを伝えよう
国語		あなたは、どう考える				
社会	わたしたちの生活と食糧生産	→	わたしたちの生活と環境			
理科	台風と天気の変化					
行事		学び発信プロジェクト「未来のためにー自分たちだからできることー」				

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。